



主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)	
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標値		
Ⅲ「安らぐまち」の実現																
自助・共助・公助による 防災力のさらなる強化	1	地域と連携した避難所開設・運営事業	迅速な避難所の開設や地域防災力の向上等のため、市と地域住民が連携し避難所の開設・運営を行う。	危機管理課	参画する校区まちづくり協議会数	—	—	—	40	校区						7,600
	2	個別避難計画作成促進事業	災害発生時等に自力で避難することができない避難行動要支援者(高齢者や障害者等)の個別避難計画を、福祉専門職と連携して作成する。	危機管理課	個別避難計画作成率	R3	37.0%	R9年度までの目標: 75.0%	70.0	%						4,900
	3	防災Action! プロモーション事業	市民への的確な防災知識の普及啓発により、市民の「自助」意識の醸成を図る。	危機管理課	避難行動が必要な市民のうち、実際に避難行動を行った市民の割合(行政評価市民アンケート: 毎年度)	R6	64.4%	R9年度までの目標: 80.0%	70.0	%	避難場所の確認や備蓄など日頃から災害への備えを行っている市民の割合(行政評価市民アンケート: 毎年度)	R6	46.1%	R9年度までの目標: 50.0%	48.0	%

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)		
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目標値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目標値			
Ⅲ 「安らぐまち」の実現																	
インフラDXの推進による市内建設業の生産性向上および人材育成	1	i- Construction 推進事業	「i-Construction」の推進・普及拡大による建設業の生産性向上を目指し、受発注者の「i-Construction」に関する技術力の向上を図る。	技術 企画 課	「i- Constructi on」に關 する体験 会、技術 研修参 加者の満 足度の向 上 (事後ア ンケート ：毎年 度)	—	—	—	70.0 %								500
	2	公共工事関係 部署における 「しごと改 革」推進事業	「公共工事関係部署のDX推進プラン」に基づき、市役所の工事関係部署の「しごと改革」を推進する。 また、公共工事に携わる市内建設業者の利便性向上を図り、「新・担い手3法」が目指す建設業の「働き方改革」を推進する。	技術 企画 課	市内工事情 報共有シ ステムの 利用率の 増加	R4	25.0%	R11年度 までの 目標： 100.0%	70.0 %	公共工事 にて遠隔 臨場（オ ンライ ン検査、 オンライ ン監督） の実施件 数の増加	R4	56件	R11年度 までの 目標： 150件	90 件			1,794

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)	
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目標値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目標値		
I 「稼げるまち」の実現																
メガリージョンの視点による近隣市町との連携	1	メガリージョン推進事業	「稼げるまち」の実現に向け、メガリージョンの視点で、北部九州地域の一体的な発展を目指すため、連携中枢都市圏や下関市をはじめとする自治体間の連携を推進する。	政策課	北九州都市圏域内の宿泊者数	R1	2,338千人	—	R8.4月公表予定	関門エリアの観光消費額の増加(北九州市観光動態調査：毎年)	R3	646.8億円	R10年度までの目標：2657.4億円	単年度目標設定なし	13,039	
若者のチャレンジ支援	2	シン・ジダイ創造事業(若者のチャレンジ応援)	若者の自由な発想や提案を引き出し、それらを実現させるための伴走支援等に取り組み、地域一体で「日本一若者を応援するまち・北九州市」の実現を目指すことで、若者の価値観や社会情勢の変化に対応し続けられる持続可能なまちづくりを進める。	Z世代課	北九州市の最近のイメージで「活躍する若者をよく目にするようになった」と答えた人の割合(市民意識調査：毎年度)	R6	8.6%	—	R6年度比増加						40,000	
女性のキャリア形成支援	3	Woman's CHOICE推進事業	女性のキャリア実現、健康支援を目的として、父親の短時間勤務の推進やフェムテックの導入・活用に官民連携して取り組む。また、女性が、つながりや思いを共有・発信できる場の創出として、オンラインコミュニティを構築する。	Woman's Will推進室	社会全体における男女平等達成感(北九州市の男女共同参画社会に関する調査：5年毎)	R4	10.7%	R9年度までの目標：15.0%	単年度目標設定なし						15,000	



主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額(千円)	
					指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値		
都市ブランドの確立(ポジティブな情報発信による北九州市のイメージアップ)	7	すこやかな共生社会構築事業	北九州国際交流協会に「(仮)多文化地域コーディネーター」を配置し、日本人・外国人の双方に訪問・ヒアリングすることで、地域や外国人市民が抱えるニーズ等を把握し、顔の見える関係性づくりにつなげる。また、外国人相談窓口の運営などを通じて、すこやかな共生社会の構築を目指す。	国際政策課	市民の「多文化共生」という言葉の認知度(行政評価市民アンケート:毎年度)	R5	59.5%	R10年度までの目標:63.0%	単年度目標設定なし		「暮らしやすい」と回答した人の割合(外国人市民アンケート:5年毎)	R5	72.4%	R10年度までの目標:80.0%	単年度目標設定なし	91,040
北九州市立大学における地域や社会の未来を担う人材育成の支援	8	次世代デジタル人材育成支援事業	北九州市立大学新学部( (仮称) 情報イノベーション学部) の整備にあたって、整備費用の一部を市が支援する。	総務課	新学部棟建設工事の進捗	R7	0.0%	R9年度までの目標:100.0%	単年度目標設定なし							1,116,000
Ⅲ 「安らぐまち」 の実現																
外国人との共生社会の実現に向けた環境整備	9	すこやかな共生社会構築事業	北九州国際交流協会に「(仮)多文化地域コーディネーター」を配置し、日本人・外国人の双方に訪問・ヒアリングすることで、地域や外国人市民が抱えるニーズ等を把握し、顔の見える関係性づくりにつなげる。また、外国人相談窓口の運営などを通じて、すこやかな共生社会の構築を目指す。	国際政策課	市民の「多文化共生」という言葉の認知度(行政評価市民アンケート:毎年度)	R5	59.5%	R10年度までの目標:63.0%	単年度目標設定なし		「暮らしやすい」と回答した人の割合(外国人市民アンケート:5年毎)	R5	72.4%	R10年度までの目標:80.0%	単年度目標設定なし	91,040









主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)	
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値		
<b>I 「稼げるまち」の実現</b>																
介護離職の減少に向けた介護サービスの充実	1	先進的介護「北九州モデル」推進事業	介護現場の働き方改革を推進するため、ICT・介護ロボット等を活用した業務改善手法「北九州モデル」の市内介護施設への普及を図り、先進的介護の実効性を高める。	先進的介護システム推進室	介護ロボット等導入施設数	R4	117件	—	200件							21,370
多様な人材（高年齢者、外国人）の活用による人材確保	2	外国人介護人材育成支援	外国人介護人材の介護福祉士の資格取得を支援し、介護の質の向上を図るとともに、介護分野への外国人の就労・定着を促進する。	介護保険課	介護福祉士合格率	—	—	—	40.0%							2,300
市内企業における「健康経営」の意識の拡大	3	働く世代の健康づくり推進事業（地域・職域連携の推進）	就労世代の健康づくりや事業所における健康経営を推進するため、「地域保健」と「職域保健」を推進する団体で設置した会議において、市域の健康課題やそれぞれの取組を共有し、効果的・効率的な官民協働の取組を進める。	健康推進課	健康経営を推進する市内企業等の増加	R5	1,464事業所	R5～R9年度までの目標：2,300事業所	2,000（R5～R8までの累計）事業所							6,000
<b>II 「彩りあるまち」の実現</b>																
彩りある文化・芸術によるにぎわいの推進	4	障害者文化芸術活動等推進事業	障害者の文化芸術活動の振興を図るため、作品展等障害者の文化芸術活動の発表の場を設けるとともに、障害者の創意意欲を助長するための必要な支援を行う。 また、とかく家に閉じこもりがちでサービスを受ける立場になりがちな障害者が、地域社会へ一歩踏み出し、社会の一員として自立するためのさまざまな支援事業を行う。	障害福祉企画課	障害者芸術祭への作品出展数	R5	268点	—	290点	障害者芸術祭来場者数	R5	1,200人	—	1,200人		8,355



主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額(千円)
					指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	
	9	地域リハビリテーション支援体制推進事業	高齢者や障害のある人、その家族が住み慣れたところでその人らしくいきいきとした生活ができるよう、地域リハビリテーション支援拠点を設置するとともに、医療機関や介護サービス事業所等の協力を得て、身近な地域でリハビリテーションに関する相談や支援が受けられる体制を構築する。	地域リハビリテーション推進課	支援センターへの相談件数	R5	403件	R8年度までの目標：600件	600件	地域ケア個別会議や高齢者サロン等の地域活動の回数	R4	247回	R8年度までの目標：600回	600回	39,000
	10	介護実習・普及センター(テクノケア北九州)運営事業関連	福祉用具及び介護テクノロジー機器の展示、専門相談支援、情報発信を行うとともに、市民・支援者に対する介護実習や研修を実施する。	地域リハビリテーション推進課	利用者満足度(指定管理者による利用者アンケート：毎年度)	R5	99.0%	—	100.0%						66,508
	11	「テクノケア北九州」介護テクノロジー普及・啓発促進事業	「テクノケア北九州」を拠点に、大学・企業・行政等、官民連携のもと、テクノロジーを活用した在宅生活モデル実証(モニタリング)を行い、テクノロジーを通じた新しい在宅生活のあり方を提案するとともに、地域における介護テクノロジーの理解促進と利用拡大を図る。	地域リハビリテーション推進課	介護テクノロジーに関する市民・支援者の認知度(高齢者等実態調査：3年毎)	—	—	R10年度までの目標：50.0%	50.0%						17,000
	12	認知症にやさしいまちづくり事業	認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進する。	認知症支援・介護予防課	認知症と聞いて、家族に迷惑をかけそうで心配である人の割合(北九州市高齢者等実態調査：3年毎)	R4	53.9%	—	R4年度比減少	認知症になっても自宅で生活が続けられるか心配である人の割合(北九州市高齢者等実態調査：3年毎)	R4	42.2%	—	R4年度比減少	59,711

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額(千円)	
					指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値		
	13	在宅医療の普及促進	患者の希望に沿った在宅医療サービスの提供がなされるよう、在宅医療の環境整備を推進する。	地域医療課	在宅療養支援病院・診療所数	R5	191か所	R8年度までの目標：R5年度比増	R5年度比増							101,000
支え合いのネットワークづくり(地域共生のまちづくり)	14	包括的な支援体制の構築	単身高齢者などの支援を必要としている人が社会的に孤立しないよう、住民、企業、行政等の地域全体で見守りを行う「いのちをつなぐネットワーク」を推進する。	地域福祉推進課	いのちをつなぐネットワーク協力会員の団体数の増加	R7	R7年度実績値	—	前年度比増							49,923
	15	福祉ボランティア活動の推進	北九州市社会福祉協議会が行うボランティアの活動推進事業に対する補助事業。 ボランティア・市民活動センターにおいて、目的や対象に応じた講座の実施や、ボランティアコーディネート、ボランティア団体の活動支援、関係機関との連携による情報収集・発信等を行う。	地域福祉推進課	ボランティアコーディネートの件数	R4	4,386件	—	5,100件							47,605
	16	認知症にやさしいまちづくり事業	認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進する。	認知症支援・介護予防課	認知症と聞いて、家族に迷惑をかけそうで心配である人の割合(北九州市高齢者等実態調査：3年毎)	R4	53.9%	—	R4年度比減少		認知症になっても自宅で生活が続けられるか心配である人の割合(北九州市高齢者等実態調査：3年毎)	R4	42.2%	—	R4年度比減少	

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和8年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額(千円)	
					指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値		
介護サービスの質・生産性の向上	17	介護シェアリング都市推進事業	北九州市が高齢化大都市のフロントランナーとして、介護業界に携わる関係人口を増やし、あらゆるリソースを動員して介護サービスを支える仕組みを構築する「介護シェアリング都市」の実現を目指し、介護人材確保に繋がる様々な事業を展開する。	介護保険課	スケッター参加事業所数	—	—	—	30	事業所						18,200
	18	先進的介護「北九州モデル」推進事業	介護現場の働き方改革を推進するため、ICT・介護ロボット等を活用した業務改善手法「北九州モデル」の市内介護施設への普及を図り、先進的介護の実効性を高める。	先進的介護システム推進室	介護ロボット等導入施設数	R4	117件	—	200	件						21,370



主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額(千円)	
					指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値		
健康寿命の延伸・健康格差の縮小	23	働く世代の健康づくり推進事業(地域・職域連携の推進)	就労世代の健康づくりや事業所における健康経営を推進するため、「地域保健」と「職域保健」を推進する団体で設置した会議において、市域の健康課題やそれぞれの取組を共有し、効果的・効率的な官民協働の取組を進める。	健康推進課	健康経営を推進する市内企業等の増加	R5	1,464事業所	R5~R9年度までの目標: 2,300事業所	2,000 (R5~R8までの累計)	事業所						6,000
	24	各種健診(検診)の実施	生活習慣病の予防等のため、特定健診やがん検診等の実施、及び各種健診(検診)の受診促進を行う。	健康推進課	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少(実績11月頃公表)	R4	34.9%	R11年度までの目標: 32.8%	33.9%	がんの年齢調整死亡率(10万人あたり)の減少	R2	男性: 444.7 女性: 205.2	R2年度比減少 ※国が国勢調査年毎に算出するR7年齢調整死亡率(R10公表予定)を基に本市目標値を算出	単年度目標設定なし		1,289,218
	25	オーラルヘルスの推進	歯科疾患の予防等のため、生涯を通じた歯科健(検)診等を実施する。	健康推進課	3歳児でむし歯のない者の割合の増加	R4	87.7%	R9年度までの目標: 92.0%	91.2%	かかりつけ歯科医がいる者の割合の増加(40~64歳)	R4	69.0%	R10年度までの目標: 74.0%	単年度目標設定なし		103,709

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	
高齢者の社会参加の推進	26	地域介護予防 活動実践者支 援事業	介護予防ツール(きた きゅう体操・ひまわり太 極拳・公園健康遊具)の 普及や介護予防リーダー の養成・支援を通して、 高齢者や障害者等が身近 な地域で年代を超えて取 り組める介護予防活動の 地域展開を図る。	認知 支 援・ 介 護 予 防 課	通いの場 に 参 加 し た 人 の 割 合 ( 介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 圏 域 二 ー ズ 調 査 : 3 年 毎)	R4	19.3%	—	23.0%						26,691
	27	高齢者地域人 材育成の推進	年長者研修大学校(周 望学舎・穴生学舎)及び 北九州穴生ドーム、並び に生涯現役夢追塾の運営 や、高齢者の社会参加を 促進する情報の総合的な 収集・提供、マッチン グ、相談対応を行う「い きがい活動ステーショ ン」の運営などを通し て、地域で活躍する高 齢者人材を育む。 あわせて、既存事業の あり方を見直し、地域活 動・就業・生涯学習の推 進など横断的な生涯現 役応援の仕組みづくりに 着手する。	長 寿 社 会 対 策 課	地域活動に つ い て、 「 行 っ て い る 」 と 回 答 し た 人 の 割 合 の 増 加 ( 年 長 大 利 用 者 ア ン ケ ー ト : 毎 年 度)	R5	42.0%	R8年度 ま だ の 目 標 : 46.0%	46.0%						227,967

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額(千円)
					指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	
障害のある人の社会参加の推進	28	障害者文化芸術活動等推進事業	<p>障害者の文化芸術活動の振興を図るため、作品展等障害者の文化芸術活動の発表の場を設けるとともに、障害者の創意意欲を助長するための必要な支援を行う。</p> <p>また、とかく家に閉じこもりがちでサービスを受ける立場になりがちな障害者が、地域社会へ一歩踏み出し、社会の一員として自立するためのさまざまな支援事業を行う。</p>	障害福祉企画課	障害者芸術祭への作品出展数	R5	268点	—	290点	障害者芸術祭来場者数	R5	1,200人	—	1,200人	8,355
	29	障害者スポーツ振興事業	<p>スポーツを通じて障害のある人の体力の維持・向上や、機能回復等を図るとともに、社会参加を促進するため、市内の障害者スポーツ大会開催、障害者のためのスポーツ教室や水泳教室の開催に必要な支援を行う。</p>	障害福祉企画課	障害者スポーツ教室参加者数	R5	1,033人	—	1,100人	障害者スポーツ教室新規参加者数	R5	233人	—	250人	53,791









主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)	
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値		
こどもまんなか社会の意 識醸成	18	こどもまんな かcity推進事 業	こどもの視点・考えを 大切に、こどもを社会を 構成する存在として尊重 することができる「こど もまんなかcity」を目指 し、社会全体でこどもや 子育てを応援する気運を 醸成するための事業を実 施する。	総務 企画 課	「子育てし やすいまち だと思っ た」と思 う子育て 当事者の 割合の増 加(子ど も家庭局 実施の市 民アンケ ー ト:毎年 度)	R6	88.9%		R11年度 までの 目標: R6年度比 増加	単年度 目標設 定なし						5,057
子どもの居場所づくり	19	子ども食堂開 設支援事業	地域のニーズに沿った 持続可能な子ども食堂の 取組を支援するため、新 規開設時や年間の運営に 掛かる費用を補助し、地 域や企業、各団体、学校 などと連携を深めながら 子ども食堂の取組を推進 するもの。 また、子ども食堂が安 全安心に運営されるため の研修会等を実施すると ともに、子ども食堂や子 ども食堂ネットワーク北 九州の運営に必要な支援 を実施する。	こども 若者成 育課	子ども食堂 開設継続率	R7	R7年度 実績値	—	対前年 度比 90.0% 以上							10,308
	20	プレーパーク 普及促進事業	こどもの健全育成に資 する外遊びの場を市内の 各地域に広げるため、こ どもの外遊びや体験の充 実を活動目的とする中間 支援組織と連携して、地 域住民等が主体となって 開催するプレーパークの 活動を支援する。	こども 若者成 育課	プレーパー ク参加者数 (大人・子 ども:延人 数)の増加	R7	大人 340人 子ども 693人 延べ 1,033人	—	R7年度 比増加							3,400
	21	放課後児童ク ラブ運営費	希望するすべての児童 に対し、適切な遊び及び 生活の場を与えて、児童 の健全な育成を図るため 、放課後児童クラブを 運営する。	こども 若者成 育課	放課後児童 クラブに対 する満足度 の向上(開 所日、開所 時間)(子 ども家庭局 実施の市民 アンケ ー ト:毎年 度)	R6	69.0%		R11年度 までの 目標: R6年度比 向上	単年度 目標設 定なし						2,544,829

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額(千円)
					指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	
I 「稼げるまち」の実現															
再生可能エネルギーや水素拠点化を通じた市内企業の成長と産業集積	1	水素拠点化推進事業	市内で水素の利活用を検討する事業者に対して、検討フェーズごとの支援を行い投資を促進することで水素拠点形成を推進し、地元企業の脱炭素化と国際競争力強化、市内への新たな産業集積につなげるとともに、市内外へ水素拠点化の取組を発信する。	グリーン成長推進課	水素拠点の形成	R5	0拠点	R12年度までの目標：1拠点	国支援制度への採択1件						22,000
	2	市内事業者等への再エネ100%北九州モデル普及推進事業	令和5年4月に採択された国の再エネ交付金を活用し、市内事業者等が第三者所有方式による太陽光発電設備、高効率空調設備の導入を行う場合の費用の一部を補助する事業を実施し、市域のCO2排出量の削減につなげる。	再生可能エネルギー導入推進課	再生可能エネルギー導入量の増加(事務事業番号2~4との合同評価)	R2	436,000kw	R12年度までの目標：1,400,000kw	703,371 kw						53,600
	3	脱炭素社会の実現に向けた再エネ100%北九州モデル推進事業	令和4年4月に国から選定された脱炭素先行地域の取組として、第三者所有方式による太陽光発電設備、高効率空調設備を公共施設等に導入し、市域の脱炭素化を行う。 また、脱炭素先行地域の共同提案者である北九州連携中枢都市圏域の自治体の脱炭素に向けた側面的支援を行う。	再生可能エネルギー導入推進課	再生可能エネルギー導入量の増加(事務事業番号2~4との合同評価)	R2	436,000kw	R12年度までの目標：1,400,000kw	703,371 kw						565,163
	4	ペロブスカイト太陽電池導入拡大事業	軽量・柔軟などの特徴を有するペロブスカイト太陽電池について、これまで太陽電池が設置困難であった場所(公共施設等)に設置を進め、再エネの導入拡大を積極的に推進する。	再生可能エネルギー導入推進課	再生可能エネルギー導入量の増加(事務事業番号2~4との合同評価)	R2	436,000kw	R12年度までの目標：1,400,000kw	703,371 kw						79,500



主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額(千円)	
					指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値		
アジア・グリーン共創ハブの推進	9	アジア・グリーン共創ハブ推進事業	環境国際協力や環境国際ビジネスの結節点となる「アジア・グリーン共創ハブ」を目指すため、国内外の環境関連企業や国際機関等とビジネス面で接点を強化し、企業の技術・製品・サービスの輸出に加え、対日投資を含めた取組を展開する。	環境国際戦略課	環境国際ビジネス参入企業数及び案件額(H22年度からの累計)	R4	30社 約100億円	R12年度までの目標: 50社程度 約500億円	単年度目標設定なし							34,300
II 「彩りあるまち」の実現																
都市ブランドの確立(ポジティブな情報発信による北九州市のイメージアップ)	10	環境配慮型ライフスタイルへの転換に向けた広報啓発事業	市民に対し、自発的な環境配慮行動の実践に繋げ、環境配慮型ライフスタイルへの行動変容を促進するため、各人の行動実施をポイントにより見える化できる「ていたんポイント(市公式LINEと連携予定)」をプラットフォームとして活用し、環境局全体で連携して一元的に環境配慮行動の習慣(継続)化を図る仕掛けを展開する。	グリーン成長推進課	ていたんポイント利用者数(行動変容者数)	—	—	—	1,000人							10,000
ネイチャーポジティブの推進	11	生物多様性戦略推進事業	産学官民が連携した「北九州ネイチャーポジティブネットワーク」を活用したプロジェクトの推進や、ポータルサイト等を活用した市民・企業等への情報発信・普及啓発を通じて、北九州市生物多様性戦略の推進を図る。 また、自然環境の現状把握と保全活動の支援等に取り組み、生物多様性を大切にする価値観の形成を図る。	ネイチャーポジティブ推進課	生物多様性に関する市民の認知度(行政評価市民アンケート:毎年度)	R7	実績値	R12年度までの目標: 60.0%	対前年度比増	生物多様性保全につながる活動への参加率(行政評価市民アンケート:毎年度)	R7	実績値	R12年度までの目標: 50.0%	対前年度比増		36,075



主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	
I 「稼げるまち」の実現															
産業用地の創出・確保	1	地域未来投資 促進法を活用 した産業用地 整備推進事業	製造業等の企業誘致を 推進するため、高速道路 インターチェンジや幹線 道路に近いなど、産業用 地として競争力が高い地 区について、地域未来投 資促進法の活用等による 民間開発を促進し、産業 用地の整備を推進する。	企 業 誘 致 課	地域未来投 資促進法を 活用した産 業用地創出 面積	~R7	0ha	R10年度 までの 目標： 20ha	単年度 目標設 定なし						4,300
スタートアップの創出・ 成長（社会課題解決に資 する企業の育成・支援）	2	企業変革・ス タートアッ プ・グロース サポート事業	市内スタートアップの 成長加速化を促進する 「成長支援プログラム」 と、スタートアップによ る行政課題解決や市内企 業との協業を促進する 「イノベーション支援プ ログラム」によって、ス タートアップに対し資金 支援・伴走支援を実施す る。 また、北九州市の様々 な課題とスタートアップ をマッチングし、解決す る北九州イノベーション ゲートを運用する。	ス タ ー ト ア ッ プ 推 進 課	支援先ス タートアッ プの新規雇 用人数（市 内）	—	—	—	10人						67,404
	3	スタートアッ プ起業家育 成サポート事業	学生を対象とした起業 家を育成する体験プログ ラムを実施し、北九州市 内でのスタートアップ創 出に取り組む。	ス タ ー ト ア ッ プ 推 進 課	起業に関心 を持った生 徒の割合	R5	60.0%	—	70.0%						4,000
	4	得意を活か す！シニアの 起業応援事業	シニアが有する経験・ スキル・人間力を起業に より地域に再投資するこ とを目的に、シニアを対 象とした起業塾を開催す る。	ス タ ー ト ア ッ プ 推 進 課	起業塾参加 者数	—	—	—	40人	シニアの起 業数	—	—	—	5社	3,000



主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目標値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目標値	
若者と企業とのマッチングによる人材確保	8	若者ワークプラザ北九州、U・Iターン応援プロジェクト運営事業	概ね40歳までの若年者及び就職氷河期世代の求職者を対象に、就業相談、各種就業関連情報の提供、セミナー、職場体験、職業紹介等の実施により、若年者の就業支援を実施する。 U・Iターン応援プロジェクトでは、市外からのU・Iターン希望者と市内企業とのマッチングを支援し、市外からの人材還流及び市内企業の人材不足解消を目指す。	雇用・産業人材政策課	就職決定者数(プラザ)	R5	935人	—	1,300人	就職決定者数(UI)	R5	234人	—	400人	118,339
	9	学生の地元就職促進事業	大学生等対象のインターンシップ等のマッチング支援と、高校生や専門学校生対象の市内企業への就職活動に役立つ情報を発信するイベント等の支援を行い、就職活動前から市内外の学生と企業が出会う機会を広く提供することで、学生と企業のミスマッチによる早期離職を防ぎ、市内企業の人材確保と若者の市内定着・還流を目指す。	雇用・産業人材政策課	新卒学生の地元就職率	R4	35.7%	R10年度までの目標：40.0%	37.3%						20,000
	10	北九州ゆめみらいワーク事業	地元企業や大学等の仕事内容や研究等について、職業体験や社会人、大学生等との交流を通じて、若者のキャリア形成を支援するとともに、将来の地元就職につなげる。	雇用・産業人材政策課	イベントの感想を「良かった」「大変良かった」と回答した出席者の割合(アンケート：毎年度)	R5	95.0%	R10年度までの目標：95.0%	95.0%	イベントの感想を「良かった」「大変良かった」と回答した来場者の割合(アンケート：毎年度)	R5	89.0%	R10年度までの目標：89.0%	89.0%	40,000
	11	地域の人事部支援事業	働きたい人が主役のまちを目指し、求職者に対するキャリア支援から導入教育、長期インターン等の一気通貫によるマッチング支援や、コミュニティ形成の場の提供等により、人と仕事があがり会い、循環する仕組みを構築することで、人材の確保と定着を図る。	雇用・産業人材政策課	本事業活用企業の採用選考に進んだ学生数	—	—	—	30人						56,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	
女性のキャリア形成支援	12	みらいのわたし応援事業	就職を機とした若い女性の転出や価値観の多様化が進む中、様々な環境の女性やロールモデルとの交流、多様な働き方の学びなどの一体的支援を通じて、女性の自分らしい生き方・働き方の実現に向けた支援を図る。	雇用・産業人材政策課	ウーマンワークカフェ北九州就職決定者数	R5	624人	—	700人						9,000
女性が働き続けることができる就労環境の整備の支援	13	ウーマンワークカフェ北九州運営事業	国・県・市の3者が緊密に連携し、就職、キャリアアップ、創業、子育てとの両立など、女性の職業生活における活躍をワンストップで総合的に支援する「ウーマンワークカフェ北九州」を運営する。	雇用・産業人材政策課	ウーマンワークカフェ北九州就職決定者数	R5	624人	—	700人						31,316
多様な人材（高年齢者、外国人）の活用による人材確保	14	グローバル人材活躍促進事業	市内企業の円滑かつ適切な外国人材の受け入れを促進するために、機運醸成から就職後の定着支援までトータルに支援するとともに、海外大学等と連携した幅広い人材獲得チャンネルの開拓を行う。	雇用・産業人材政策課	北九州地域の外国人労働者数	R5	9,183人	R11年度までの目標：14,080人	13,180人						25,550
	15	経験を力に変えるシニア活躍応援事業	シニアの希望職種就職と企業の即戦力確保を支援し、活力あるまちを目指す。求職者に対するキャリア分析やリスキリング、マッチング支援の強化に加え、企業への意識改革セミナーや国の助成金活用支援を通じて全方位的に支援する。	雇用・産業人材政策課	高年齢者就業支援センター就職決定者数	R5	1,096人	—	1,250人						20,000
	16	高年齢者就業支援センター運営事業	元気で働く意欲のある高年齢者が、豊かな経験や能力を生かし、生涯現役でいきいきと働けるように、就業相談やキャリアカウンセリング、資格取得サポートを実施するとともに、シニア・ハローワークなど各種支援機関と連携してワンストップで就職支援を行う。	雇用・産業人材政策課	高年齢者就業支援センター就職決定者数	R5	1,096人	—	1,250人						30,547



主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額(千円)
					指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	
学術研究都市2.0戦略	20	「稼げるまち」への原動力～未来産業推進事業～	「稼げるまち」の実現に向け、北九州学術研究都市を中心に、フィジカルAIや半導体、宇宙、次世代自動車などの未来産業について、市内外の大学や企業等との連携を加速し、研究開発や人材育成、企業競争力の向上に取り組み、先端企業の集積や地域産業の高度化、新ビジネスの創出を図る。	未来産業推進課	先進企業の集積	R5	7件	R12年度までの目標：20件	単年度目標設定なし						152,483
	21	学術研究都市管理運営事業(指定管理)	民間等のノウハウを最大限に生かすことにより、利用者の多様なニーズに応え、市民サービスの向上を図り、多様で効果的な施設運営を図る。	未来産業推進課	産学連携施設の入居率	R5	64.1%	—	65.0%						784,620
物流拠点化の推進	22	マルチモーダル促進支援事業	従来のトラックのみの輸送からフェリーや鉄道等、複数の輸送経路を活用したモーダルシフトに取り組む企業に対し、その実証経費を支援する。あわせて、マルチテナント型(先進的)物流施設を活用した「新しい運び方」のモデルプランを構築することで一層の集貨・創貨を図る。	企業誘致課	マルチテナント型物流施設の誘致件数(着工時点)	R7	2件	R7～R10年度までの目標：累計5件	1件					16,000	
企業変革や企業規模拡大など地域中核企業の成長促進	23	「未来を担う地域中核企業」成長促進プロジェクト	将来の成長の糧となる新規事業創出など、新たなチャレンジに対して総合的・集中的支援を行うことにより、企業変革や企業規模拡大を図り、市内の「地域中核企業」の成長を促進する。	産業政策課	新規事業着手等企業成長に取り組む企業数	—	—	R10年度までの目標：15社	7社					25,000	







新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和8年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額(千円)
					指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	
都市ブランドの確立 (ポジティブな情報発信による北九州市のイメージアップ)	38	地域の人事部支援事業	働きたい人が主役のまちを目指し、求職者に対するキャリア支援から導入教育、長期インターン等の一気通貫によるマッチング支援や、コミュニティ形成の場の提供等により、人と仕事があめぐり合い、循環する仕組みを構築することで、人材の確保と定着を図る。	雇用・産業人材政策課	本事業活用企業の採用選考に進んだ学生数	—	—	—	30人						56,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)		
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値			
<b>II 「彩りあるまち」の実現</b>																	
彩りある文化・芸術によるにぎわいの推進	1	北九州国際音楽祭	地域の音楽文化の向上を図るため、国内外の一流のアーティストによる公演や小中学生の鑑賞教室など、多彩なプログラムの国際音楽祭を開催する。	文化企画課	北九州国際音楽祭の参加者の満足度維持(来場者アンケート：毎年度)	R4	99.0%	R11年度までの目標：毎年度90.0%以上	90.0%	%以上							38,000
	2	芸術文化活性化事業(劇場・響ホール補助事業)	北九州芸術劇場や響ホールが持つ特性を活かし、多彩で良質な音楽や舞台芸術等を提供する。	文化企画課	自主事業の参加者の満足度維持(来場者アンケート：毎年度)	R4	芸術劇場92.9% 響ホール99.1%	R11年度までの目標：毎年度90.0%以上	90.0%	%以上	文化のかおるまちと思う市民の割合の増加(行政評価市民アンケート：毎年度)	R4	28.5%	R11年度までの目標：40.0%	34.0%	%	86,200
	3	芸術文化育成補助金	北九州市の文化水準の向上及び地域文化の振興に資することを目的として、積極的に文化活動を展開している文化団体等の事業に対して、助成を行う。	文化企画課	文化団体事業参加者数(文化芸術に触れた人数)の維持	R4	56,000人	R11年度までの目標：毎年度56,000人	56,000	人	文化芸術活動をした市民の割合の増加(行政評価市民アンケート：毎年度)	R4	16.9%	R11年度までの目標：30.0%	24.0%	%	33,600
	4	「歌でつながる。歌で華やぐ。」うたのまち北九州市	歌を通じてあらゆる世代を結びつけるとともに、まちに華やかさや賑わいを生み、まち全体に彩りを広げていく、「うたのまち北九州市」の充実・強化に向けて、市民が主役となる音楽イベントや、歌を通じて一体感や交流を生む取組等を市内各所で展開し、取組の一層の広がりや定着を図る。	文化企画課	参加者の満足度(イベント参加者アンケート：毎年度)	—	—	—	80.0%	%以上	文化芸術を身近に感じる市民の割合の増加(行政評価市民アンケート：毎年度)	R4	30.5%	R11年度までの目標：40.0%	34.0%	%	13,000

主な施策	事務 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)	
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値		
	5	美術館企画展	多彩で魅力的な展覧会を開催し、本市の美術・文化の振興を推進し、彩りあるまちづくりに寄与する。	美術 館 普 及 課	美術館入館者数	R4	187,000人	—	190,000人							102,239
	6	博物館企画展・特別展充実事業	入館者の増加につながる、魅力ある大型特別展を開催する等、東田地区のさらなる賑わいを創出する。	自然 史・ 歴 史 博 物 館 普 及 課	博物館総入館者数	R5	431,278人	R9年度までの目標：470,000人	450,000人							63,785
	7	北九州市漫画ミュージアム普及事業	漫画文化の普及・振興を図り、北九州市及び漫画ミュージアムの魅力を国内外に発信するため、常設展示の充実、企画展やイベント等を開催する。	漫 画 ミ ュ ジ ア ム 事 務 局	漫画ミュージアム入館者数	R5	95,252人	—	100,000人	漫画ミュージアムの認知度 (行政評価市民アンケート：毎年度)	—	—	—	50.0%	55,304	
	8	北九州国際映画祭関連事業	北九州国際映画祭の開催を通じて、北九州市から世界に羽ばたいていった映画や映画人が北九州市に再び集い、市民との交流や映画をテーマにしたイベントを実施するとともに、映画人材の育成を促進する。	MICE ・ メ デ ィ ア 芸 術 課	パブリシティ効果	R5	3億円	R9年度までの目標：3億円	2億円	来場者の満足度アンケートで「満足」「やや満足」と回答した人の割合 (来場者満足度アンケート：毎年度)	R5	90.0%	R9年度までの目標：毎年度90.0%	90.0%	23,000	
スポーツによるにぎわいづくり	9	大規模国際スポーツ大会等誘致関係事業	国際スポーツ大会等の誘致・開催支援を通して都市のブランド力を向上させ、さらなる大会誘致につなげるとともに、観光や地域資源等と組み合わせることで大会の付加価値向上に取り組む。	ス ポ ー ツ 振 興 課	スポーツを身近に感じる市民の割合 (行政評価市民アンケート：毎年度)	R4	44.4%	R11年度までの目標：70.0%	54.0%	スポーツ実施率 (行政評価市民アンケート：毎年度)	R4	56.6%	R11年度までの目標：70.0%	70.0%	25,000	







主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額(千円)	
					指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値		
外国人観光客の誘客の推進	20	MICE誘致推進強化事業	MICE開催を通じて海外から企業・大学などの主要な研究者等、次世代の人材を多く集め、北九州市の知名度向上を図るとともに、集まった人を市内へ送り出す地域経済の活性化に資する取組みを強化する。	MICE・メディア芸術課	経済波及効果	R5	114億円	R10年度までの目標：130億円	130億円							82,700
	21	インバウンド誘致促進事業	北九州空港・福岡空港に直行便のあるエリアを主なターゲットとして、観光プロモーション(情報発信)や受入環境の整備等を行い、外国人観光客の誘客促進を図る。	インバウンド課	外国人観光客数(北九州市観光動態調査：毎年)	R6	36.7万人	—	R7年度末設定予定		外国人観光消費額	—	—	—	R7年度末設定予定	109,900



主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	
ウォークアブルなまちづくり、快適なまちなか歩行空間の整備	5	「小倉・黒崎」エリアの価値向上事業	小倉・黒崎地区の将来像を広く周知し、官民で共有する。あわせて、まちの魅力を高める官民連携プロジェクトを実装・推進し、民間投資の呼び込みを通じて、エリアの価値向上を図る。	都市再生企画課	まちなかの居心地の良さを図る指標 (安心感・寛容性・安らぎ感・期待感)	R6	(小倉・黒崎の平均点) 安心感 4.7点 寛容性 5.0点 安らぎ感 4.0点 期待感 3.4点 (各8点満点)	—	4要素で8点満点中各6点以上	小倉・黒崎駅周辺1kmエリア内の民間建設投資額	—	—	—	R5～R8年度までの目標：合計600億円	73,460
持続可能な公共交通ネットワークの再構築	6	未来につなぐ公共交通リ・デザイン事業	公共交通の利便性、持続可能性、生産性向上を目指すため、公共交通のDXやバリアフリー化等により、誰もが利用しやすい環境づくりに取り組むとともに、持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向けた検討を実施する。	都市交通政策課	市内の公共交通人口カバー率 (北九州市環境首都総合交通戦略：5年毎)	R3	86.0%	—	86.0%	公共交通に対する満足度 (行政評価市民アンケート：毎年度)	R3	66.0%	—	70.0%	17,279
	7	みんなで創る！公共交通「北九州モデル」推進事業	シニアをはじめとする交通弱者など、誰もが安心して移動できる公共交通の維持・確保を目指し、多様なお困りごとを把握し、新たな移動手段の確保に向けた検討や実証に加え、あらゆる世代への利用促進や啓発活動を進めていく、官民連携による北九州モデル(第2弾)を推進する。	都市交通政策課	市内の公共交通人口カバー率 (北九州市環境首都総合交通戦略：5年毎)	R3	86.0%	—	86.0%	公共交通に対する満足度 (行政評価市民アンケート：毎年度)	R3	66.0%	—	70.0%	10,000
戦略的な定住・移住施策の推進	8	移住推進関連事業	北九州市への移住を推進するため、若者・子育て世帯をメインターゲットとして、情報発信、相談窓口、お試し暮らし、移住支援金や住宅取得等費用の支援等により、移住の検討段階に応じた切れ目のない支援を行う。	住まい支援室	移住支援金や住宅取得等費用の補助を利用した転入者数	R5	630人	—	560人						147,400

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)	
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値		
Ⅲ「安らぐまち」の実現																
持続可能な都市経営を目指したまちづくりの推進	9	まちなか居住 移転支援事業	持続可能な都市経営の実現に向け、災害から市民の生命・財産を守るとともに、まちなかの活力を維持増進するため、区域区分見直しによる市街化調整区域への編入区域等からまちなかへの移転支援を実施する。	都市 計画 課	土砂災害による危険からの回避	—	—	—	—	—	土砂災害による危険からの回避					21,185
	10	ミライの安心につなげる「住宅・建築物耐震化等安全推進事業」	市民の安全・安心な暮らしを促進するため、民間建築物について、耐震化や危険ブロック塀の除去、吹付アスベスト対策にかかる工事費等を支援するとともに、その普及啓発にかかる取組を行う。	建築 指導 課	住宅の耐震化率	R5	94.0%	R17年度までの目標：住宅の耐震化の完了(おおむね解消)	単年度目標設定なし							
利活用を含めた空き家対策	11	空き家対策事業	相談対応のDX化を行うとともに、空き家バンクの対象を拡充するなど、空き家・空き地対策の3つの柱である「発生予防啓発・管理促進」「活用促進」「管理不全の解消」を官民連携で取り組み、総合的な対策を推進する。	空き 家 活 用 推 進 課	住宅・土地統計調査におけるその他空き家数(住宅・土地統計調査：5年毎)	R5	27,600戸	R12年度までの目標：27,600戸	単年度目標設定なし							166,500
郊外部など公共交通の不便地域における交通・生活サービスの確保	12	地域の生活交通を確保する「おでかけ交通支援事業」	公共交通空白地域における地域住民の生活交通を確保するため、おでかけ交通を運行するタクシー事業者や車両の小型化により路線を維持するバス事業者への運行支援等を実施する。	都市 交通 政策 課	市内の公共交通人口カバー率(北九州市環境首都総合交通戦略：5年毎)	R3	86.0%	—	86.0%	公共交通に対する満足度(行政評価市民アンケート：毎年度)	R3	66.0%	—	70.0%	216,000	









主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)	
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値		
北九州港の利用促進	10	海上モーダル シフト促進事 業	2024年問題の解決と物 流における環境負荷低減 の促進を目的として、陸 上輸送から海上輸送への 転換を図るため、フェ リー・RORO航路を初めて 利用する事業者に対する 補助を実施する。	物流 振興 課	北九州港海 上出入貨物 取扱量	R6	10,063 万トン	R11年 までの 目標： 10,900万 トン	単年 目標設 定なし							4,900
	11	港湾利用促進 支援事業	北九州港に寄港する船 会社の航路維持・拡大及 び集貨拡大を目的とし て、新たな航路・貨物に 対する補助を行う。	物流 振興 課	北九州港海 上出入貨物 取扱量	R6	10,063 万トン	R11年 までの 目標： 10,900万 トン	単年 目標設 定なし							47,000
	12	北九州港集貨 航路誘致事業	セミナーの開催や、 様々な媒体を利用した PR及び官民一体となった ポートセールス活動など を通じて、北九州港への 集貨・航路誘致を行う。	物流 振興 課	北九州港海 上出入貨物 取扱量	R6	10,063 万トン	R11年 までの 目標： 10,900万 トン	単年 目標設 定なし							11,345
産業用地の創出・確保	13	臨海部産業用 地活用事業	臨海部産業用地の維持 管理及び売却・貸付を実 施する。 臨海部産業用地への企 業立地に向け、埋立地の 造成を行う。	港営 課 整備 課	臨海部用地 への分譲促 進	—	—	—	臨海部 用地 年2件以 上の分 譲	新門司埋立 地の分譲完 了	R5	0ha	R14年度 までの 目標： 16.3ha	単年度 目標設 定なし		177,987
風力発電関連産業の「総 合拠点」の形成	14	風力発電関連 産業の総合拠 点形成事業	響灘地区の充実した港 湾インフラと広大な産業 用地を活用し、風力発電 関連産業の総合拠点の形 成を推進する。	洋上 風力 拠点 化推 進課	4つの拠点 機能（「積 出・建設拠 点」「製造 産業拠点」 「物流拠 点」「O&M 拠点」）の 形成	R5	1機能	R12年度 までの 目標： 4機能 (累計)	単年度 目標設 定なし	浮体式拠点 の形成	R5	0箇所	R12年度 までの 目標： 1箇所	単年度 目標設 定なし		316,766



主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)	
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目標値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目標値		
Ⅲ「安らぐまち」の実現																
市民への防火意識のさらなる普及啓発	1	火災予防の推進	火災を予防するとともに、いざという時に行動することができるよう、幼少年から高齢者に対する火災予防啓発を推進する。	予防課	住宅用火災警報器の設置率の向上	R7	88.0%	—	R7年度比向上							3,775
	2	消防音楽隊による防火・防災意識の醸成	消防音楽隊の演奏やカラーガード隊の演技を通じて、幅広い世代を対象に消防のPR活動や防火・防災の啓発活動を実施する。	訓練研修センター	聴衆者数の確保	R5	9.2万人	—	12万人							900
救急体制のさらなる強化	3	ICTを活用した救急搬送スピードアップ事業	令和6年度に導入した「患者情報管理システム」の適切な運用を行い、救急活動時間の短縮を図る。	救急課	心肺停止傷病者の1ヵ月生存率の向上	R5	16.4%	R15年度までの目標：26.6%	22.6%							19,298
	4	応急手当の普及啓発活動の推進	不測の事態により傷病者が発生した場合、現場に居合わせた誰もが適切に応急手当を行い、一人でも多くの市民の命を守るため、子どもから大人まで幅広い範囲で、応急手当の普及啓発活動を推進する。	救急課	心肺停止傷病者の1ヵ月生存率の向上	R5	16.4%	R15年度までの目標：26.6%	22.6%							856
	5	救急救命士資格取得研修	市民に対し、高度な救急救命処置ができるように、新規救急救命士や気管挿管認定救命士の養成を行う。	救急課	心肺停止傷病者の1ヵ月生存率の向上	R5	16.4%	R15年度までの目標：26.6%	22.6%							15,340
	6	救急需要増大に伴う救急車の増台	高齢化の進展等により救急需要が増大しており、消防研究センターと行った将来推計では、2035年まで救急出動件数の増加が見込まれている。増大する救急需要に対応するため、運用する救急車を増台する。	救急課	心肺停止傷病者の1ヵ月生存率の向上	R5	16.4%	R15年度までの目標：26.6%	22.6%							0



主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額(千円)	
					指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値		
II 「彩りあるまち」の実現																
外国語教育の推進	1	北九州市型外国語教育の推進	北九州市型外国語教育の推進をはじめ、外国語指導助手(ALT)の配置等による指導体制の充実や子どもの学習意欲を高める取組等を実施することにより、北九州市と世界の架け橋となる人材を育成する。	学校教育課	中学校卒業段階で、CEFR A1レベル(英検3級程度)以上の生徒の割合(英語教育実施状況調査:毎年度)	R5	48.3%	R10年度までの目標:60.0%	単年度目標設定なし							305,188
文理の枠を超えた学び・最先端の理工系教育の推進	2	スー1★リケジョchallenge事業	理工系の楽しさを体験できるプログラム等を開催し、理工系分野に関する興味・関心を年間を通して継続的に高められるようにする。	次世代教育推進課	将来の夢や目標を持っていることの割合(全国学力・学習状況調査:毎年度)	R5	小:81.1% 中:66.8%	R10年度までの目標: 小:85.0% 中:70.0%	小:84.0% 中:68.5%							7,000
コミュニケーション力や生きる力を身につける教育の推進	3	経済界との連携による学校支援事業	市内企業等と連携して、企業等の人材やノウハウなどを学校教育に生かす。	次世代教育推進課	将来の夢や目標を持っていることの割合(全国学力・学習状況調査:毎年度)	R5	小:81.1% 中:66.8%	R10年度までの目標: 小:85.0% 中:70.0%	小:84.0% 中:68.5%							5,500
学校給食の質の向上	4	学校給食の魅力向上(おいしい給食大作戦)	学校給食の魅力向上に向けて、新献立の提供やSNSでの情報発信に取り組むとともに、安全安心で安定的な学校給食を提供する。	学校保健課	給食を「おいしい」と答えた子どもの割合(給食アンケート:毎年度)	R7	R7年度実績値	—	前年度比増							0



主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	
「こどもまんなか」の教 育施策の推進	9	こどもまんな か教育プラン 推進事業	「北九州市こどもま んなか教育プラン」の周 知・浸透のために、ワー クショップや研修を実施 する。	企画 調整 課	将来の夢や 目標を持つ ていること の割合 (全国学 力・学習状 況調査：毎 年度)	R5	小： 81.1% 中： 66.8%	R10年度 までの 目標： 小： 85.0% 中： 70.0%	小： 84.0% 中： 68.5%						1,038
	10	心の教育推進 事業	伝統文化や異年齢・地 域交流などの体験を生か して、児童生徒が自己の 生き方についての考えを 深める道徳教育を推進す るとともに、先人の業績 や地域の歴史に関する学 習を深め、郷土を愛する 心など豊かな心を育成す る。	学校 教育 課	「自分には よいところ がある」と 回答した児 童生徒の割 合(全国学 力・学習状 況調査：毎 年度)	R5	小6： 80.3% 中3： 78.1%	—	全国平 均以上	地域や社会 をよくする ために何か してみたい と思うこと の割合 (全国学 力・学習状 況調査：毎 年度)	R5	小6： 75.3% 中3： 62.3%	R10年度 までの 目標： 小： 80.0% 中： 70.0%	小6： 80.0% 中3： 70.0%	2,419
	11	AIアプリ導入 による個別最 適化学習推進 事業	北九州市の全ての子ど もたちの学力向上を図る ため、令和7年9月より供 用開始した第2期GIGA端末 にAI型学習アプリを導入 し、個別最適な学習の機 会を公的に確保する。	指導 企画 課	学習した内 容について、わかつ た点や、よくわからな かった点を見直し、次 の学習につ ながってい ると回答す ることもの 割合(全国 学力・学習 状況調査： 毎年度)	R6	小中学 生平均 74.2%	R10年度 までの 目標： 80.0%	単年度 目標設 定なし						113,413
本市の特色を活かした教 育活動の推進	12	たいけん・ま なび充実大作 戦	市立小中学校の児童生 徒を対象に、学校教育に おいて地域の施設を活用 した体験活動の機会を提 供することにより、実体 験を通じた学習意欲の高 まりを促す。	学校 教育 課	授業が自分 に合った教 え方、教材、学習時 間などにな っているこ とと思うこ ともの割合 (全国学 力・学習状 況調査：毎 年度)	R5	小： 81.7% 中： 73.6%	R10年度 までの 目標： 小： 85.0% 中： 80.0%	小： 84.0% 中： 80.0%						76,650

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	
Ⅲ「安らぐまち」の実現															
不登校・いじめ対策の強化	13	不登校・いじめ対策の強化	「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」等に基づき、不登校の未然防止、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどによる相談体制の充実を進める。 「いじめ防止対策推進法」に基づいた対応の徹底を図るとともに、いじめの未然防止、いじめの積極的な認知と早期の組織的対応、いじめ重大事態への対応、関係機関等との連携などの対策を講じる。	生徒指導課	学校に行くのは楽しいと思うことの割合（全国学力・学習状況調査：毎年度）	R5	小学生：83.8% 中学生：78.9%	R10年度までの目標： 小：90.0% 中：85.0%	小学生：88.0% 中学生：83.0%						50,658
学びの機会の確保	14	学びの多様化学校開校準備事業	令和9年4月に開校予定である「学びの多様化学校」を設置するにあたり、北九州市立教育センターの一部を改修し、整備等を行う。また、教育活動や学校運営に必要な環境を確保するため、備品・消耗品を整え、ネットワーク環境を整備する。	指導企画課	学びの多様化学校の開校	—	—	—	開校準備完了						51,685
学校と地域の連携による学校運営	15	学校と地域の連携による学校運営	コミュニティ・スクールを核として、地域との連携・協働を図り、「地域とともにある学校づくり」を推進する。 地域学校協働本部・スクールヘルパー事業をはじめ、様々な市民ボランティア等と連携し、安全・安心な学校づくりや教育活動に係る支援など、各学校の実情に応じて、地域全体で学校教育を支援する取組を進める。	次世代教育推進課	「教育的効果が得られた」と回答した地域学校協働活動実施校の割合（地域学校協働活動事業実施校に対して行うアンケート：毎年度）	R7	R7年度実績値	—	R7年度比増						30,141